



まゆの里事業

染織り講習会

八月三日(土)より始まった染織り講習会の第二回目が二十四日(土)に、第三回目が九月の七日(土)に行われました。

染織り講習会は、今年で八年目です。

とても、人気の高い講習会で、募集し始めてすぐに定員の三十名になりました。

第二回目では真綿を漢方で染色しました。

染色の元となるどくだみを一時間以上かけて煮出して、その煮汁に一つはミョウバン、もう一つは酢を合わせたもので染色しました。

ミョウバンの方は黄色、酢の方は茶色に染め上がりました。

報資料館の里鶴夕

令和元年9月20日

第 105号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

ミョウバンは黄色に、酢は茶色に染まりました！



第三回目は、真綿から糸を紡いで自分で考えたデザインを基に、織り方が始まりました。



～民話会ゆうづるの活動紹介～

放課後子供教室

民話会ゆうづるの活動は、夕鶴の里の来館者への口演はもちろんですが、要請があれば夕鶴の里以外へも出て行って語りを披露したり、語りの養成講座を行ってまいります。今年も南陽市社会教育課より要請があり、八月に赤湯小学校と沖郷小学校に出向いて、沖郷小学校に「部活動」として民話語り部教室という内容で、活動をしました。

赤湯小学校

八月六日(火)

十三時三十分～十五時

講師…菅野敏子会長
参加者…佐々木恵子さん
一年生～五年生の児童五名

テキストを使って語り体験



「シャボン玉」を歌いながら、皆で手遊び♪



「置賜のビッキと村山のビッキ」の紙芝居



講師…朝倉喜美子さん
大竹和子さん
参加者…一年生～五年生の児童十名

沖郷小学校

八月八日(木)

十時十五分～十一時四十五分

手遊びも楽しい♪



夕鶴の里特別展
近代女性の憧れ展

開催

十月十二日(土)より、夕鶴の里特別展「近代女性の憧れ展」を開催します。

今回の特別展では、近代の女性がどのようなモノやコトに憧れていたのかを展示します。当時は田舎より華やかな都会で生活したいという女性が増え、特に田舎に住む若い女性は盆・正月に帰省するハイカラで垢抜けた同郷の女性達を見て都会生活に憧れました。都会へ憧れ田舎を出るといふ社会現象は現代と同じです。展示を通して当時の女性の憧れを知っていただき、現代の暮らしと比較していただければと思います。



髪飾り (個人蔵)



クラブほゝ紅 (個人蔵)

本資料は日本のモダニズムをけん引した中山太陽堂(現・クラブコスメチックス)が製造した化粧品のほほ紅です。この会社の化粧用品は流行に敏感な女性達に愛用されていました。

展示の見どころ

十月より
入館料・体験料が
変更になります

《入館料》



大人(個人) 320円 → 330円

大人[団体:15名以上] 270円(変更ありません)

小中学生(個人) 100円 → 110円

小中学生[団体:15名以上] 50円(変更ありません)

※教育を目的として入館する児童生徒と引率、障がい者等、その付添者は入館料が無料になります。

《機織り体験料》 ※要予約

コースター作り 500円 → 550円

《そば打ち体験料》 ※要予約

1人 1,000円 → 1,100円

(15名以上50名まで)

